



センターWebページへ

トップ

教育相談 1

教育相談 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ

ハイライト:

「教育相談」の特集号です。

児童・生徒をとりまく「こころ」の問題、教育支援を必要とする児童・生徒への対応など、教育相談活動の理論や実践、教育相談の現況と当センターの取り組みを紹介します。

目次:

教育相談課の取り組み	2
特別支援教育課の取り組み	3
講座紹介・受講者の声	4
新着図書・ライブラリ紹介	5
教育情報システム紹介	6
お知らせ	6

青森県総合学校教育センター センターだより

特集「教育相談」

当センターの教育相談は、幼児や児童生徒の心身の発達、就学、学業、性格や行動、進路等に関する諸問題の解決に向け、本人、保護者、学校関係者及び関係機関の方々を対象として行っています。

また、教育相談は、大きく3つの形態で実施しております。



相談の内容によって、3つの形態に分かれますが、互いに関係していることがあります。それぞれの相談件数等は次の表のとおりです。

形態	担当課	相談件数及び指導人数		
一般教育相談	教育相談課	相談件数	16年度	1,965回 (不登校: 1,469)
			17年度	1,815回 (不登校: 1,419)
相談人数		16年度	17人 (小: 1 中: 16 高: 0)	
		17年度	28人 (小: 1 中: 25 高: 2)	
障害児教育相談	特別支援教育課	相談件数	16年度	1,046回 (幼児: 456 小中高他: 590)
			17年度	1,097回 (幼児: 370 小中高他: 727)

原則として、相談における保護者等からの経費はありません。

相談方法は、電話、来所、郵便、FAX 等で応じています。

教育相談に関する詳細は、下記の電話番号にお問い合わせください。



一般教育相談・適応相談・適応指導

017-728-5575

障害児教育相談

017-764-1991

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」



教育相談課
- 一般教育相談・適応相談窓口 -

トップ

教育相談 1

教育相談 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



適応指導教室
- ふれあいの部屋 -



適応指導教室
- 学びの部屋 -

教育相談課の取り組み

教育相談課で行っている「一般教育相談」、「適応相談及び適応指導」について、その概要を紹介いたします。

(教育相談課 笹日出美)

1 一般教育相談

(1) 内 容

子どもの成長過程で起こるさまざまな教育上の問題に関する相談に応じています。

- ・心身の発達に関すること
- ・性格や行動に関すること
- ・学業に関すること
- ・進路や適性に関すること
- ・学校教育に関すること
- ・家庭教育に関すること
- ・不登校児童生徒に関すること

(2) 対 象

教育に関することで、悩みを抱えている方

- ・幼児
- ・小学生
- ・中学生
- ・高校生
- ・保護者
- ・教職員

(3) 相談方法

電話相談 時間 8時30分～17時00分

(土・日・祝日や時間外は留守番電話で対応)

電話番号 017-728-5575

面接相談 時間 9時00分～17時00分(土・日・祝日は休み)

申し込み 初回は電話(017-728-5575)をして、面談の日時をご予約ください。

2 適応指導(不登校児童生徒の自立援助のための、適応相談及び適応指導)

(1) 内 容

- ・カウンセリングなどにより、不安や悩みの解消を援助します。
- ・行事などにより、自立心や適応能力、生活意欲を高めます。
- ・学習意欲の高まりに応じて、教科学習の援助をします。

(2) 対 象

不登校の児童生徒で、適応指導教室に通う意欲を持ち、集団に適応する力を高める必要のある者

- ・小学生
- ・中学生
- ・高校生

(3) 実施時間

月・火・木・金曜日 10時00分～15時00分

水曜日 10時00分～12時00分

【休業】土・日・祝日、夏季(7月中旬～8月下旬)、冬季(12月中旬～1月下旬)

(4) 主な行事

- 所内 ・文化祭 ・卒業・進級を祝う会
- 所外 ・ボウリング体験 ・宿泊体験 ・ふれあいサマーキャンプ
- ・職場体験 ・ボランティア体験 ・ふれあいウインターキャンプ

(5) 申込手続き

適応指導教室に通うためには、以下のような手続きをとります。

電話相談 ・まずは電話でご相談ください。(017-728-5575)

面接相談 ・何回か面接相談を行い、その児童生徒に合った方針を考えます。本人と保護者から適応指導教室に通いたいという希望があれば、検討します。

体験通所 ・適応指導教室への通級が妥当と判断されれば、体験通所が始まります。

面接相談の継続が妥当と判断されたり、他の機関を紹介されたりすることもあります。

学校訪問 ・担当指導主事が所属校を訪問し、学級担任とお話しします。

申込書提出 ・所属校の校長が申込書を提出します。

受理決定 ・これで正式な通所となります。

特別支援教育課で行っている「障害児教育相談」について、その概要を紹介いたします。
(特別支援教育課 奈良理央)

1 障害児教育相談

(1) 内 容

乳幼児及び児童生徒の発達や養育、就学、進路等に関する相談に応じています。

相談内容の例

- ・話していることばが聞き取りにくい。
- ・ことばの数がなかなか増えない。
- ・ひとりごとが多く、会話になりにくい。
- ・落ち着きがなく、視線が合いにくい。
- ・一人遊びが多く、友だちとのかかわりが苦手。
- ・呼びかけに対して反応が弱い。
- ・運動や指先を使う活動が苦手。
- ・身体の動き乏しく、動作がぎこちない。

(2) 対 象

乳幼児及び児童生徒の発達や養育、就学、進路等に関することで悩んでいる方

- ・本人
- ・保護者
- ・家族
- ・幼稚園、保育所、学校などの関係者や関係機関

(3) 相談方法

来所相談 電話相談 手紙、FAX相談

その他(来所が困難で、電話では解決できないなどの場合、対応を考えます。)

相談受付時間 9時00分～17時00分(月曜日～金曜日)

電話番号 017-764-1991 FAX番号 017-764-1992

(土・日・祝日や時間外はFAXで対応)

来所相談 - 課題学習 -



特別支援教育課
- 障害児教育相談窓口 -

トップ

教育相談 1

教育相談 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



待合ロビー・検査室フロア

2 特別支援教育充実のための教育相談支援日

障害のある子どもの養育や教育についての教育相談を通じて、本人、保護者及び教員のニーズを大切に特別支援教育の充実を図ることを趣旨として、年 12 回を予定し毎月 1 回土曜日に開催しています。

これまで 8 回の開催で、約 50 名からの相談に応じています。

3 特別支援教育相談セミナー

特別支援教育に関する教育・福祉・医療等からの専門家によるセミナーをとおして、障害のある子どもをもつ保護者や関係する方々が望ましい養育や指導の在り方について理解を深め、家庭や学校等における生活の充実を図ることを目的に、年 3 回土曜日に開催しています。現在までに 2 回行われ、合わせて 282 名の参加者がありました。

今回は、12月9日に開催する予定です。

当日は、上記 2 の特別支援教育充実のための教育相談支援を午前実施しています。



各種遊具を備えたプレイルーム

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」



初任者研修 - 野外活動の様子 -

トップ

教育相談 1

教育相談 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



小学校英語活動講座
～実践発表で紹介された教材～

一瞬で絵が変わります（写真では「ゲー」「チョコキ」）。英語でクイズを出し、正解を言うときにパッと絵を示して使います。

講座紹介・受講者の声

これまでに開催された講座の様子を受講者の声を交えて担当者が紹介します

「講座番号030 初任者研修（高等学校）宿泊研修」 07/25～07/28 開催

この講座は、県立学校初任者の先生方が青少年教育施設に宿泊し、自然体験や教育的体験を積みとともに、教員相互の交流を行うことにより、幅広い知見を得るとともに実践的指導力の向上を図る目的で行われる講座です。

今年度初めて、五所川原市にある青森県立梵珠少年自然の家で介護や福祉に関する実習、自然体験活動を行いました。また、パフォーマンス・マネジメントやストレス・マネジメントの講義・演習により、生徒理解の専門的な知識やメンタルヘルスに関わる内容を学習しました。（高校教育課 鈴木志信）

受講者の声

- ・ひとりの力では大きな力はなかなか生み出せませんが、仲間と協力することにより予想もつかない力を生みだせることを実感しました。
- ・行動を分析して解決策を導き出す ABC分析は子どもの行動について考える際にも活用しなければならぬと感じました。
- ・ストレスとうまくつきあうことについて学びました。自分の中のストレスを書き出してみようという活動で客観的に自分を見つめることができました。

「講座番号093 小・中学校10年経験者研修 心と体の健康講座」 08/15 開催

この講座は、教職経験10年の節目を迎えた先生方が、自らの健康管理の重要性について学ぶことを目的としており、以下の3つの内容を中心に講義・演習が行われました。

- 三浦保健師（県教職員互助会）～「健康は人生の目的でなく手段である」との講義と生活習慣病に関する最新の情報と対策について
- 渡邊所長（県立精神保健福祉センター）～「ストレスやうつ病の理解と対応の仕方」や「子どもたちのストレスとその接し方」について
- 野呂指導主事（県総合学校教育センター）～受講者代表の実演による「運動不足や疲労回復のコツ」等の紹介

これらを通して、教師自身の健康が家族や職場及び教育と大きく関わっていることを再確認し、今後具体的に何をすべきかについて理解を深めるよい機会となりました。

（義務教育課 原子修逸）

受講者の声

- ・ナチュラルキラー細胞を活性化させるのは心だと聞き、心の健康が体の健康にも大きく影響していることが分かりました。
- ・自らの健康は、やはりセルフコントロールをしっかりし、ケアを怠らないように気をつけなければならぬと思いました。
- ・何もしないことが疲れを残さず自分をいたわることだと勘違いしていたので、今日から自分の心と体にもう少し気を配っていきたいと思います。

「講座番号513 小学校英語活動研修講座」 08/29～08/30 開催

この講座は、小学校における英語活動のねらいや、英語を使って楽しく活動させるための指導法について学ぶ講座です。英語活動必修化への流れを受けて、毎年希望者が増えている講座です。講座の内容は、英語活動のねらいや英語活動を実施する際の留意点などに関する講義、ALTによる楽しいゲームの紹介（受講者は英語で自己紹介した後、実際にゲームを体験します）、英語活動に取り組んでいる学校の実践発表、そして松香フォニックス研究所の松香洋子先生による講義・演習と盛り沢山です。英語が得意でなくても気軽に受講していただきたいと思います。（義務教育課 今智人）

受講者の声

- ・講義を聞いて、教師があまり構えないで、気軽に取り組んでみようという気持ちになりました。
- ・実際にゲームをやってみて、自然に英語に親しんでいけることを実感しました。また、「英会話たいそう」や歌など、すぐに活用できるものを教えていただき参考になりました。
- ・発表では、様々な試行錯誤を繰り返しながら学習を組み立てていることがわかり、素晴らしいと思いました。

この講座は、大型反射望遠鏡などによる天体観察や教材作成等を行う講座です。また、空に雲があっては満足な内容にならないという、天気にも左右される講座でもあります。

一日目、夜空は雲に覆われ、天体観察は無理かと諦めかけた頃に雲の切れ間から星が見られるようになりました。予定していた木星とその衛星の観察はほとんどできませんでしたが二重星アルビレオや球状星団などいくつかの天体を観察することができました。

二日目も天気は回復せず、太陽の観察はできませんでしたが、望遠鏡や太陽系に関する教材を検討しました。来年こそ満天の星空の下で講座が開催されることを願っています。

(高校教育課 水沼一鑑)

受講者の声

- ・天候に左右されるのは仕方のないことで、今回は木星は見られませんが、天体望遠鏡で実際にいくつかは見られたので良かったです。
- ・天体望遠鏡の使い方が少しわかってきました。学校の天体望遠鏡を出して使ってみようかなと思っています。
- ・期待していた太陽の観察ができずに残念でした。でも、レンズを使った望遠鏡の仕組みや惑星の大きさ・位置のモデル実験はとてもためになりました。

「講座番号202 国語科「書くこと」指導講座」 10/25～10/26 開催

本講座は、国語科における「書くこと」にかかわる指導の在り方を学ぶ研修講座です。

今年度より、小・中合同の内容に衣替えし、新たに「書くこと」とかかわりの深い言語事項「書写」の実技演習を組み込んで、より実践的な講座に生まれ変わりました。

1日目は、講義と実践発表を中心に、小・中学校の系統を踏まえたこれからの「書くこと」指導について研修をし、2日目は、書家の浦郷綾子氏を講師に迎えて「魅力ある書写指導 - 毛筆の基礎・基本 - 」と題した実技演習を行いました。

46名の先生方が受講しましたが、センター初の内容であった「書写」実技研修については、指導技術の向上だけでなく個々の先生方の技量の向上にもつながって、講座後のアンケートには充実感いっぱいの喜びの声がたくさん寄せられました。

(義務教育課 中村直人)

受講者の声(2日目の「書写」実技演習に関して)

- ・とても楽しかったです。筆を持って作品を書くのは数年ぶりでしたが、夢中になって書きました。毎日何気なく書いている文字には長い歴史があって、今日につながっているんだと思うと、文字をもっと大切にしないでならないと思いました。
- ・文字の成り立ちから、毛筆の基礎・基本、応用の色紙づくりとバラエティでとてもよかったです。1日があっという間に過ぎました。単なる書道で終わらず、児童生徒への指導法もまじえた内容でたいへん勉強になりました。



天体望遠鏡・天体ドーム

トップ

教育相談 1

教育相談 2

講座紹介・受講者の声 1

講座紹介・受講者の声 2

お役立ち情報・お知らせ



国語科「書くこと」指導講座風景

ライブラリ・お役立ち情報

～ 新着図書・ライブラリ紹介 ～

今年度第2次購入分の新着図書の一部をご紹介します。新刊の単行本だけでなく全集や百科事典等も更新し、より使いやすい環境を整えていきたいと考えております。また、センターで所有する平成17年度までの教育資料(教育論文・研究紀要等)のリストを、センターWebページ「[お知らせ/図書・ソフトウェアライブラリ](#)」内に掲載しておりますので、こちらをあわせてご活用ください。

(高校教育課 高橋美和子)

書名	編者名	出版社名
読解力向上に関する指導資料 ～PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向～	文部科学省	東洋館出版社
考える力がつく子ども地図帳(日本)	編者 アイランス	草思社
最新 音楽科教育の実践	座屋純郎 桑原啓一	教育芸術社
日本美術のことば案内	日画館	小学館
からだ-気づきを学びの人間学-	高橋和子	晃洋書房
家庭科におけるキャリア教育の開発に関する研究	阿崎留恵	風間書房
英語感覚が身につく実践的指導	田中茂徳 佐藤芳明 ほか	大修館書店
キーワードで読む情報教育 vol.1～7	編者 中川一史	日本文教出版
図解 フィンランド・メソッド入門	北川蓮夫 フィンランド・メソッド普及会	経済界
ドイツの職業教育・キャリア教育	寺田盛紀	大学教育出版
一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育入門	編 氏森英亜 吉崎真	川島書店
特別支援教育のための探求力を高める方法	太田正己	黎明書房
メールカウンセリング	編 武藤瑞幸 渋谷英雄	川島書店

今回は、「インターネット百葉箱」を紹介します。

インターネット百葉箱の原型は、「気象や風景の定点観測データを自動集約、データベースを自動構築し、グラフ表示等を行うシステムを用意して、広域の観測地点群において自動収集される定点観測情報を提供する」という広域定点観測網実証コンソーシアムによるプロジェクト（teiten2000プロジェクト）です。

定点観測システムのデータは、当センターの身近な気象データとして、自由に教育利用できるメリットがあることから、当センターはコンソーシアムに協力してセンター屋上にプロトタイプの機器を設置しました。

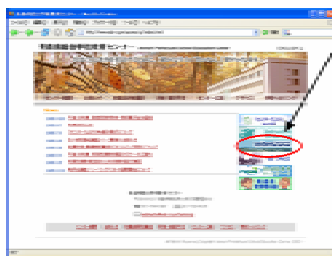
このプロジェクトは、文部科学省ネットワーク提供型コンテンツ提供事業として、平成12年度にスタートし、その後、4年間継続されました。平成17年4月からは、JNK4：情報ネットワーク教育活用研究協議会が、定点2000プロジェクトの観測協力体制を組織し、広域定点観測網実証コンソーシアムのメンバーの協力を得ながら、観測と成果を継承していくことが決まりました。当センターでもこれに賛同し、これまでインターネットを介して行ってきた教育情報提供事業の一環として、引き続き定点機器を設置し、気象データや画像をネットワーク提供型コンテンツとして、当センターWebページから閲覧できるようにしています。現在設置している「インターネット百葉箱」は、「定点CUBE」という名称で製品化されています。



気象観測装置



定点カメラ



インターネット百葉箱



【公開されている教材例】

- ・ [グラフから天気を予想しよう](#)
- ・ [フェーン現象ってなに？](#)
- ・ [潮の満ち引き](#)

(定点2000プロジェクト)

<http://teiten.educ.c.pref.aomori.jp/>

当センターでは、長期研修生や研究員の研究テーマ、学校現場の教員による教材研究等へ活用されることを見込んでいます。是非、日常の教科指導や教材作成のコンテンツ素材としてご活用ください。
(産業教育課 幸山勉)

お知らせ

～ センター研究発表会を開催します ～

当センターでは、研究成果を広く教育関係者に発表し、本県の教育向上に資するために、「青森県総合学校教育センター研究発表会」を開催しています。

今年度は、平成19年1月11日(木)～12日(金)2日間の日程で開催します。

9:40	10:10	12:00	12:30	14:00	14:15	14:30	16:00
11日(木)	受付	部会別研究発表会 (18発表)	昼食・休憩	部会別研究発表会 (5発表)	移動	全体会	講演
9:40	10:10	12:00	12:10				
12日(金)	受付	部会別研究発表会 (16発表)	閉会式	演題「21世紀の地球環境とエネルギーを考える」 講師 金谷 年展(慶應義塾大学大学院助教)			

なお、研究発表テーマ及び発表者、申込方法を記載した[開催案内をセンターWebページ](#)に掲載しています。多くの参加をお待ちしております。

(教育相談課 笹日出美)

編集後記

先日、特別支援教育相談セミナーの手伝いをする機会があり、そこである児童と数時間にわたって接する機会を持ちました。最初から最後までその児童の移動に合わせて一緒に動き回ったり、遊びを手伝ったりしましたが、意思疎通が不十分なまま終了したことを覚えています。そんな私に対して、その児童は別れ際に笑顔で手を振り返してくれましたが、障害児教育相談についての理解がもう少しあれば、様々な接し方があったかもしれないと今は後悔しています。

さて「センターだより Web版」11月号では、センター業務の柱の一つである相談業務についての特集を組んでおりますが、勿論教育相談・障害者教育相談に関する研修も充実しておりますので、センターの研修講座を活用し、教員として必須の素養になってきている教育相談についての理解を是非深めて頂ければと思います。
(広報委員会 白戸爾)

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ
教育相談 1
教育相談 2
講座紹介・受講者の声 1
講座紹介・受講者の声 2
お役立ち情報・お知らせ